

令和元年度指定管理者評価シート

1. 管理運営の状況等

(1)施設名	さいたま市武蔵浦和コミュニティセンター																		
(2)施設概要	<p>①所在地 さいたま市南区別所7-20-1</p> <p>②施設の設置目的 市民のコミュニティ活動の施設として設置</p> <p>③施設の概要 【開館】平成25年1月4日 【構造】鉄骨造、一部鉄骨鉄筋コンクリート造・鉄筋コンクリート造 地下1階 地上10階建のうち8・9階部分 【延床面積】1847.97㎡ 【主要施設】多目的ホール(定員194名)、レクリエーションルーム1(定員45名)</p>																		
(3)指定管理者	オーエンス・アイルグループ																		
(4)指定期間、指定管理料	<p>①指定期間 平成28年4月1日～令和3年3月31日</p> <p>②指定管理料 平成28年度318,400千円、平成29年度318,400千円、平成30年度319,156千円、 令和元年度323,956千円</p>																		
(5)施設の管理運営の内容	<p>■運営業務の状況(利用状況含む)</p> <p>①利用状況 ・利用者数 170,681人(前年度192,827人) ・稼働率 99.1%(前年99.4%) ※利用可能日数に対する使用率 ・利用率 88.7%(前年88.7%) ※利用可能区分に対する使用率 ▶利用者数については、新型コロナウイルス拡大防止措置に伴う休館及び大型台風被害に伴う利用人数減少が大きく影響した。ただし、利用率については昨年同様高い数値を維持できた。</p> <p>②業務実施状況 市民に根強い人気がある「武蔵浦和シネマ」「駅前寄席」のほか、「クラフト講座」「古典文学講座」「ひまわりクラシックコンサート」「合唱講座」「親子体操教室」等、幅広い年齢層対象の事業を展開した。また、新規事業として開催した語り芸「説経浄瑠璃 おぐり」、市民参加型の「キャップアート事業」、出前講座の「アウトリーチ事業」は、好評な事業となった。また、毎年恒例の「鉄道模型展」「コミセンまつり」は、多くの市民の方が楽しめる一大イベントとして開催した。 ▶年度末の事業については、新型コロナウイルスの影響ですべて中止となった。</p> <p>③維持管理業務の状況 ア 設備管理業務 利用者へのより良い環境造りのため、年間計画に基づいた45項目の保守点検業務を実施した。また、各施設からの意見・要望を調整し、各階のトイレ洗面台鏡面錆及び便座修繕他、数多くの経年劣化に伴う設備修繕を実施した。 イ 警備業務 24時間体制のもと、人的警備・機械警備を連携させ、徹底した警備保安業務をに努めた。また、今年度、特出した業務として令和改元に伴う深夜を含めた婚姻届の受付等、区役所の補助業務を実施した。 ウ 清掃業務 施設的美観、清潔、快適を目的として、日々スケジュール管理下のもと業務を実施した。利用者からのアンケート調査においても高い満足度数値の結果をいただいた。年度末からのコロナウィルス対策についても利用者・職員の安心・安全を護るため、徹底した清掃に努めた。</p>																		
(6)収支状況	<p>①収入</p> <table border="0"> <tr> <td>・文化事業、コピー機収入</td> <td>3,268千円</td> <td>(前年度 3,513千円)</td> </tr> <tr> <td>・指定管理料</td> <td>323,956千円</td> <td>(前年度 319,156千円)</td> </tr> </table> <p>②支出</p> <table border="0"> <tr> <td>・人件費</td> <td>165,441千円</td> <td>(前年度 165,168千円)</td> </tr> <tr> <td>・事務費</td> <td>88,947千円</td> <td>(前年度 84,287千円)</td> </tr> <tr> <td>・施設管理費</td> <td>72,836千円</td> <td>(前年度 70,513千円)</td> </tr> <tr> <td>・事業費</td> <td>1,810千円</td> <td>(前年度 2,699千円)</td> </tr> </table>	・文化事業、コピー機収入	3,268千円	(前年度 3,513千円)	・指定管理料	323,956千円	(前年度 319,156千円)	・人件費	165,441千円	(前年度 165,168千円)	・事務費	88,947千円	(前年度 84,287千円)	・施設管理費	72,836千円	(前年度 70,513千円)	・事業費	1,810千円	(前年度 2,699千円)
・文化事業、コピー機収入	3,268千円	(前年度 3,513千円)																	
・指定管理料	323,956千円	(前年度 319,156千円)																	
・人件費	165,441千円	(前年度 165,168千円)																	
・事務費	88,947千円	(前年度 84,287千円)																	
・施設管理費	72,836千円	(前年度 70,513千円)																	
・事業費	1,810千円	(前年度 2,699千円)																	

(7)利用者アンケート等による市民からの意見・要望等への対応	外部委託業者により館内アンケート調査を実施した。総合満足度評価は97.4%で前年より+0.7%の高い評価を得た。内容的には、「自主事業」「施設」「清掃」「職員」に対する評価が高く、改善要望としては、予約の取りずらさ他、音楽室の設備・備品に関するもの、貸出パソコンに関するもの等のご意見を頂いた。こうしたご意見要望に対する回答は、各担当責任者と調整の上、ホームページに掲載する予定。
(8)その他	①警備職員により令和改元に伴う婚姻届け受付業務を実施した。5/1 84件(内深夜23件) ②図書館2階への出入り口が分かりづらいとの意見に対して、案内掲示物の改善を図った。 ③夏場の熱中症対策について、館内エントランスロビーの活用を市民に呼びかけた。 ④区役所指導で休息所に給水機を設置したことにより、協働で持ち込みごみの削減を図った。 ⑤ペットボトルキャップ資源により、世界の子どもにワクチンの提供をする活動を継続実施した。また、並行して1232個のキャップを利用した市民参加型のキャップアートを完成させた。

2. 提案内容の達成状況

(指定管理者から提案のあった項目の達成状況)

提案内容	達成状況
職員教育への取り組み	年2回予定していた職員研修は、新型コロナウイルスの影響により1回のみ開催となった。内容については、利用者へ心地良く利用いただくための「接遇」をテーマとして、本部講師指導により駐輪・駐車場職員のみならず案内職員を含めた多くの職員参加のもと実施した。他、担当部署毎の研修を始め、管理面強化のため個人情報保護に関してのセキュリティ対策について学習した。
基本方針に基づく自主事業への取り組み	地域に精通した委員参加による地域連絡協議会を年2回開催し、多方面からなる意見をもとに幅広い世代の方が参加できる価値ある事業を展開した。毎年、新規事業を組み込み、テーマを替え、出演者を替え、飽きのこない事業を開催した。また、社会貢献活動の一環として始めたアウトリーチ活動については、施設の皆様よりお礼の言葉をいただく等の地域コミュニティ活動を実践した。
危機管理体制への取り組み	帰宅困難者一時滞在施設の役割を担うため、職員代表参加のもと大掛かりな大宮駅周辺帰宅困難者対策訓練に参加し、避難所開設準備への基礎知識を勉強した。今後、施設間における連携を強化したい。また、年2回実施する消防訓練においては複合施設への対応を考慮に入れ、負傷者救護訓練・避難はしご訓練等、新規訓練を取り入れ緊張感をもって実施した。
経費削減への取り組み	複合施設の各代表者に毎月の定例会を通して光熱用水費の調査票をもとに削減を要請した。特に、今年度は、空調経費の削減を目標として、支障のない部屋等については夜間空調を停止した。(コミセン音楽室等)また、共有部分、事務所等の間引き照明については継続して実施した。その他、建物維持管理経費については、予算経費を念頭に無駄のない運用に努めた。

3. 評価

(1) 指定管理者による評価

・毎月開催される各施設担当者による連絡調整会議を始め、指定管理者内部での運営会議等で様々な意見を調整し、施設の環境改善に取り組み実績を残せた。また、地域に精通した方々との意見交換をする場である地域連絡協議会を開催することにより地域コミュニティ活動の促進と施設運営にも貢献できた。また、施設利用に関して大きなトラブルもなく順当に運営できたことは、設備・警備・清掃・受付の指定管理者業務を日々円滑に実施した点にあるもので、大いに評価できると考える。

・今年度は、大型台風による自然災害や終息の見通しが立たない新型コロナウイルスの影響により危機管理体制の重要性を改めて実感できた年であった。今後、こうした非常事態に備え課題整理をし、利用者の安心・安全を優先的に考えた対策を講じていきたい。

(2) さいたま市の評価(評価担当課:市民局市民生活部コミュニティ推進課)

総合評価 **(B)** ※A~D

1 項目別の評価

①市民の平等利用、市民サービスの向上、利用促進

幅広い年代層に向けた事業を展開し、好評を得ている事業が多かった。

②経費の削減

目標を定めた経費削減や、併設施設の管理者へ向けた削減要請等、具体的な対策をとっていた。

③適正な管理運営の確保

施設の維持管理、併設施設との意見調整、台風19号や新型コロナウイルスによる施設利用キャンセル対応等、指定管理者として十分な能力を発揮した。

2 総合評価

事業計画に沿って適正に管理運営が行われている。また、危機管理事案に対しても適切に対処できている。

(3) 来年度の管理運営に対する指導事項等

令和元年度の経験を活かし、「新しい生活様式」に沿った施設の管理運営を展開するように指導する。